

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	JIN KIDS kota		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 22日	～	2026年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日	～	2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有と振り返りを大切にしたい、チームでも支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援前後に打ち合わせや振り返りを行い、その日の支援内容や気づきを共有している</li> <li>・ 当日参加出来なかった職員も、記録や書面を通して内容を確認できる体制を整えている</li> <li>・ 朝礼、昼礼等、日常的に情報共有の機会を設け、職員間での共通理解を図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りの内容を次の支援目標や活動計画に、より具体的に反映していく</li> <li>・ ご利用者様の困りごとについて話し合う場を定期的に設け、支援の質の向上につなげていく</li> </ul>
2	一人ひとりに寄り添った支援と安心・安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者様の意思表示やサインを見逃さないよう、日々職員間で話し合いを行っている</li> <li>・ 見守りやすい環境作りや安全面への配慮(二重扉、動線確認、避難訓練等)を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アセスメントシートの書式変更を検討し、ご利用者様の思いや変化をより支援計画に反映できるようにする</li> </ul>
3	保護者様や関係機関との丁寧な連携・信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送迎時や面談時等を活用し、保護者様と日常的に情報共有や相談対応を行っている</li> <li>・ 支援計画や契約内容について、書面を用いて丁寧に説明をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族支援プログラムや保護者同士の交流の機会について、実施方法を検討していく</li> <li>・ 関係機関との連携や情報共有について、体制作りを進めていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間の使い分けや環境面において、状況により十分に対応しきれない点がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静養室の一部に活動物品を一時的に保管しており、使用する際にスペースが十分確保できないことがある</li> <li>・ 物品の保管場所が定まっていないものもあり、空間が雑然とすることがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動内容や過ごし方に応じたスペースの区分や、目印の設置を検討していく</li> <li>・ マットやヨギボアの保管場所を見直し、必要時すぐに活用できる環境を整える</li> <li>・ 日常的な整理整頓を意識し、安心して過ごせる生活空間の確保に努める</li> </ul>
2	職員の役割分担や業務負担に偏りが生じることがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご利用者様の特性やその日の状況により、排せ介助や活動対応が特定の職員へ集中しやすい</li> <li>・ 看護職員が担う業務が多く、負担が大きくなりやすい体制になっている</li> <li>・ 日によって役割分担が明確でない場面がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援前の打ち合わせにて役割分担を確認し、職員全体での共通認識とする</li> <li>・ 声を掛け合いながら柔軟に役割を見直し、負担の偏りを減らしていく</li> <li>・ 業務の簡易化や分担方法について、職員間で検討を重ねていく</li> </ul>
3	支援内容や取り組みについて、全職員への周知・共通理解が十分でない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドラインや支援のねらいについて、改めて共有する機会が少ない</li> <li>・ 個々の振り返りや気づきが事業所全体の支援方針として整理しきれない</li> <li>・ 関係機関との連携や取り組みについて、職員間で把握に差がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドラインや支援方針について話し合う場を設け、理解を深めていく</li> <li>・ 振り返り内容を整理し、次の支援や目標設定につなげていく</li> <li>・ 関係機関との連携状況についても共有し、事業所全体で把握できる体制を整える</li> </ul>